

公益財団法人競走馬理化学研究所飼料等薬物検査受託規程

(平成30年11月26日 理事長達第14号)

最終改正 令和元年10月28日

(総則)

第1条 この規程は、公益財団法人競走馬理化学研究所（以下「研究所」という。）の行う飼料等薬物検査に係る受託に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において飼料等とは、競走馬等に与え又は処方することを目的に製造又は販売されるものをいう。

2 この規程において飼料等薬物検査（以下「飼料等検査」という。）とは、理事長が別表に指定する薬物（以下「指定薬物」という。）につき、公益財団法人競走馬理化学研究所競走馬薬物検査受託規程（平成30年理事長達第13号）第3条に定める薬物検査の方法に準じて検査し、判定することをいう。

(飼料等の種別)

第3条 飼料等は、次の各号により種別する。

- (1) 単体飼料（単一の原材品から成るもの）
- (2) 配合飼料（穀類、牧草を主な原材料とし、ビタミン、ミネラル等を混合したもの）
- (3) 補助飼料（競走馬の栄養摂取を補助することを目的としたサプリメント等）
- (4) 医薬品
- (5) 動物用医薬品
- (6) 医薬部外品
- (7) 理事長が特に認めたもの（前各号以外のもの）

(飼料等検査の区分)

第4条 飼料等検査は、別表の指定薬物につき、次の各号により区分する。

- (1) カテゴリーA
- (2) カテゴリーB
- (3) カテゴリーC
- (4) オプション

(飼料等検査の契約)

第5条 日本中央競馬会及び地方競馬主催者が飼料等検査を依頼する場合は、あらかじめ理事長と協議のうえ、契約を締結するものとする。

2 前項の契約は、次の事項について定めるものとする。

- (1) 契約の期間
- (2) 検査材料の提出方法
- (3) 第9条の規定による飼料等薬物検査成績通知書を受領する者の職名、氏名及び連絡先
- (4) 検査料及びその支払方法
- (5) その他必要な事項

(飼料等検査の依頼手続)

第6条 飼料等検査を依頼しようとする者（以下「依頼者」という。）は、飼料等薬物検査依頼要領（昭和53年3月17日決裁。以下「依頼要領」という。）に従い、飼料等薬物検査依頼書（以下「依頼書」という。）に必要事項を記入し、検査材料及び第12条に掲げる検査料に消費税法（昭和63年法律第108号）に定める消費税及び地方税法（昭和25年法律第226号）に定める地方消費税を加えた額を添え、

理事長に提出するものとする。ただし、前条の規定により契約した者（以下「契約者」という。）は、第13条の規定により検査料を支払うものとする。

（飼料等検査の受託）

第7条 理事長は、前条の規定により飼料等検査の依頼を受けたときは、依頼書、検査材料及び検査料を点検し、第10条の規定による検査結果の公表について依頼者の同意を得たうえで、これを受託するものとする。

2 理事長は、前項の点検の結果、依頼書、検査材料及び検査料に不備があった場合は、これを受託しないことがある。

（飼料等検査の実施）

第8条 理事長は、依頼書に記載された内容のうち、要領に定める飼料等の識別情報について、依頼者及び日本中央競馬会等の競馬主催者と情報を共有して確認した後、検査を実施するものとする。

2 理事長は、必要に応じ、依頼者と協議のうえ、第4条に掲げる検査の区分ごとの薬物の一部について検査を省略することができる。

（検査成績の通知）

第9条 理事長は、飼料等検査が完了したときは、その成績を依頼要領に定める飼料等薬物検査成績通知書に記入し、速やかに依頼者に通知する。

（検査成績の公表）

第10条 理事長は、第8条第1項に規定する飼料等の識別情報及び前条の検査成績を、2次元コードを用いてウェブサイトに掲載することにより公表するものとする。

（特急検査）

第11条 理事長は、契約者から緊急に処理し、速報する飼料等検査（以下「特急検査」という。）の依頼を受けたときは、次に掲げる事項につき契約者と協議のうえ、これを受託することができる。

- (1) 特急検査依頼の理由
- (2) 検査材料の発送及び到着日時
- (3) 検査依頼件数
- (4) 速報の方法及び日時

（飼料等検査の検査料）

第12条 飼料等検査の検査料は、1検査材料につき、次の表のとおりとする。

| 区 分 | 検査料（税別） |
|---|-----------|
| カテゴリーA | 80,000 円 |
| カテゴリーB | 54,000 円 |
| カテゴリーC | 30,000 円 |
| オプション | 6,000 円 |
| 第8条第2項により薬物の一部について省略する場合 | 理事長が別に定める |
| 第14条による飼料等検査の特例その他この規程に定め ない特別の事情があると理事長が認める場合 | |

（契約者の検査料の請求及び支払）

第13条 理事長は、契約者に対して第5条第2項に規定する検査料に消費税法（昭和63年法律第108号）に定める消費税及び地方税法（昭和25年法律第226号）で定める地方消費税を加えた額を請求するも

のとする。

2 前項の規定による検査料は、請求を受けた日から起算して30日以内に支払うものとする。

(飼料等検査の特例)

第14条 理事長は、第2条から第4条に掲げる定義、種別及び区分に該当しない飼料等の薬物検査に係る受託については、その都度、依頼者との協議により定めるものとする。

(規程の改廃)

第15条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。ただし、内容が軽微な事項は、理事長があらかじめ実施できるものとする。この場合、直後の理事会において承認を得るものとする。

2 前項の軽微な事項は、理事会が別に定める。

別 表

| 番号 | 薬物名 | 検査区分 | | | |
|-----|---------------------------------|-------|---|---|-------|
| | | カテゴリー | | | オプション |
| | | A | B | C | |
| 1 | アセプロマジン | ○ | | | |
| 2 | アドラフィニル | ○ | | | |
| 3 | アトロピン | ○ | ○ | ○ | |
| 4 | アミノフィリン | ○ | | | |
| 5 | アミノレックス | ○ | | | |
| 6 | アルプレノキシム | ○ | | | |
| 7 | アルプレノロール | ○ | | | |
| 8 | アンフェタミニル | ○ | | | |
| 9 | アンフェタミン | ○ | | | |
| 10 | イブテロール | ○ | | | |
| 11 | イブラトロビウム | | | | ○ |
| 12 | エタノール | ○ | ○ | | |
| 13 | エチルアンフェタミン | ○ | | | |
| 14 | エチルモルヒネ | ○ | | | |
| 15 | エフェドリン | ○ | ○ | | |
| 16 | オキシエチルテオフィリン | ○ | | | |
| 17 | オキシプロピルテオフィリン | ○ | | | |
| 18 | 10-オキソカンファー | ○ | | | |
| 19 | オクスプレノロール | ○ | | | |
| 20 | カフェイン | ○ | ○ | ○ | |
| 21 | カルバマゼピン | ○ | | | |
| 22 | カンフル | ○ | ○ | | |
| 23 | キシラジン | ○ | | | |
| 24 | キンボロン | ○ | | | |
| 25 | グアイフェネシン | ○ | | | |
| 26 | クレンブテロール | ○ | | | |
| 27 | クロベンゾレックス | ○ | | | |
| 28 | クロルプロマジン | ○ | | | |
| 29 | クロルプロマジンスルホキシド | ○ | | | |
| 30 | コカイン | ○ | ○ | | |
| 31 | コデイン | ○ | ○ | | |
| 32 | コリンテオフィリン | ○ | | | |
| 33 | サルブタモール | ○ | | | |
| 34 | シクラゾドン | ○ | | | |
| 35 | ジヒドロオキシプロピルテオフィリン | ○ | | | |
| 36 | ジブカイン | ○ | | | |
| 37 | シプロヘプタジン | ○ | | | |
| 38 | ジメチルアンフェタミン | ○ | | | |
| 39 | ジモルホラミン | ○ | | | |
| 40 | スコボラミン | ○ | ○ | ○ | |
| 41 | スタノゾロール | ○ | | | |
| 42 | ストリキニーネ | ○ | ○ | | |
| 43 | セレギリン | ○ | | | |
| 44 | テオフィリン | ○ | ○ | ○ | |
| 45 | テオプロミン | ○ | ○ | ○ | |
| 46 | デキストロアンフェタミン | ○ | | | |
| 47 | デクスメドミジン | ○ | | | |
| 48 | テストステロン | ○ | | | |
| 49 | デトミジン | ○ | | | |
| 50 | テトラカイン | ○ | | | |
| 51 | デプレニル | ○ | | | |
| 52 | テルブタリン | ○ | | | |
| 53 | トラマドール | ○ | | | |
| 54 | トランスバイオキソカンファー | ○ | | | |
| 55 | トレンボロン | ○ | | | |
| 56 | ナンドロロン | ○ | | | |
| 57 | ニクタミド | ○ | | | |
| 58 | ニコチン | ○ | ○ | | |
| 59 | ノスカピン | ○ | ○ | | |
| 60 | バルビタール | ○ | | | |
| 61 | バルビツール酸誘導体 | ○ | | | |
| 62 | パンブテロール | ○ | | | |
| 63 | ピプラドロール | ○ | | | |
| 64 | ファンプロファゾン | ○ | | | |
| 65 | フェネチリン | ○ | | | |
| 66 | フェンカミン | ○ | | | |
| 67 | フェンプロボレックス | ○ | | | |
| 68 | フラザボール | ○ | | | |
| 69 | フルオキシメステロン | ○ | | | |
| 70 | ブルシン | ○ | ○ | | |
| 71 | フルフェノレックス | ○ | | | |
| 72 | ブレニラミン | ○ | | | |
| 73 | プロカイン | ○ | | | |
| 74 | プロカテロール | ○ | | | |
| 75 | フロセミド | ○ | | | |
| 76 | プロピオニルプロマジン | ○ | | | |
| 77 | プロプラノロール | ○ | | | |
| 78 | プロマジン | ○ | | | |
| 79 | ベタキソロール | ○ | | | |
| 80 | ベモリン | ○ | | | |
| 81 | ヘロイン | ○ | | | |
| 82 | ベンズフェタミン | ○ | | | |
| 83 | ベンゾジアゼピン誘導体 | ○ | | | |
| 84 | パンタゾシン | ○ | | | |
| 85 | ペンテトラゾール | ○ | | | |
| 86 | ボルジオン | ○ | | | |
| 87 | ボルデノン | ○ | | | |
| 88 | メサビリレン | ○ | | | |
| 89 | メソカルブ | ○ | | | |
| 90 | メタンフェタミン | ○ | | | |
| 91 | メチルエフェドリン | ○ | | | |
| 92 | 17 α -メチルステロイド類 | ○ | | | |
| 93 | メチルフェニデート | ○ | | | |
| 94 | メドミジン | ○ | | | |
| 95 | メテノロン | ○ | | | |
| 96 | メトカルバモール | ○ | | | |
| 97 | メトキシフェナミン | ○ | | | |
| 98 | メトプロロール | ○ | | | |
| 99 | メフェノレックス | ○ | | | |
| 100 | モダフィニル | ○ | | | |
| 101 | モルヒネ | ○ | ○ | ○ | |
| 102 | リスデクスアンフェタミン | ○ | | | |
| 103 | リドカイン | ○ | | | |
| 104 | ロミフィジン | ○ | | | |
| 105 | 前各号に掲げる物のいずれかを含有するもの（遊離する物を含む。） | ○ | | | |

注) 検査区分欄に「○」が付された薬物は、第4条第1項に規定する各検査区分の対象薬物であることを示す。

附 則（平成30年11月26日 理事長達第14号）

- 1 この通達は、平成30年11月26日から施行する。
- 2 公益財団法人競走馬理化学研究所飼料等薬物検査受託規程（昭和53年規約第2号）は、廃止する。

附 則（令和元年10月28日 理事長達第7号）

この通達は、令和元年11月1日から施行する。